

いかご

IKAGO通信

滋賀県長浜土木事務所木之本支所

〒529-0426 滋賀県長浜市木之本町黒田1234

TEL 0749-82-3434 FAX 0749-82-2654

Email : ha36100@pref.shiga.lg.jp

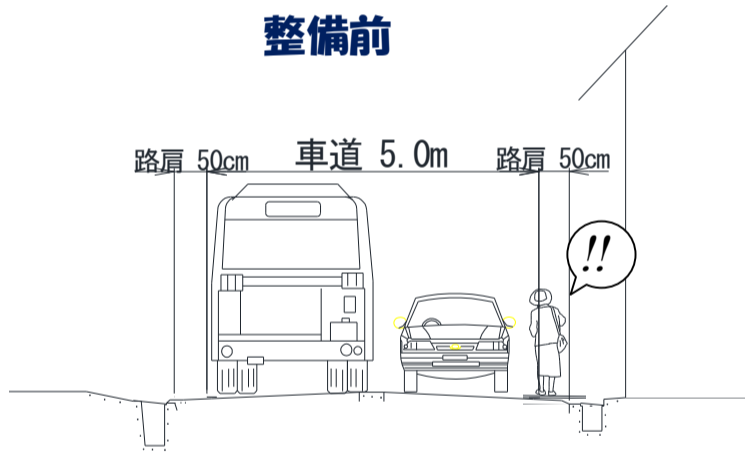
URL : <http://www.pref.shiga.lg.jp/h/ki-doboku/>

《県道 落川高月線の道路改良工事を進めています》

県道落川高月線は、国道365号阿弥陀橋交差点から旧高月町中心部を経て国道8号までの全長1.0kmの路線です。阿弥陀橋交差点からJR高月踏切まで約600mの区間は、通学路でありながら歩道がなく危険な状態でした。そこで、平成23年から北側に幅2.0mの歩道を設ける工事を進めています。平成25年8月には阿弥陀橋から170m区間が完了しました。現在、残りの区間の工事を進めています。完了は平成26年秋頃の予定です。

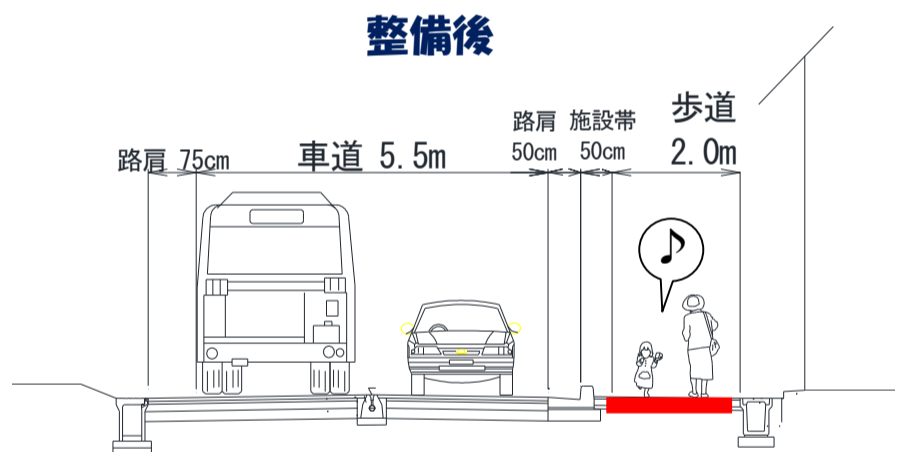


整備前



歩行者のすぐそばを自動車が通過し、危険…

整備後



2.0mの歩道幅員を設けます。

《既設堰堤を利用した大谷川砂防堰堤が完成しました》

大谷川は高時川にそそぐ一級河川谷川の上流にあり、流域面積は約7.3km²です。下流の人家や高時小学校などを守るために、平成8年に事業をはじめ、今回完成した堰堤は平成19年に着手したもので、透過型堰堤と言われるものです(写真上)。

この区間には国の特別天然記念物のオオサンショウウオが生息していたため、生物環境アドバイザー制度を活用し、生息実態の把握から保全対策の検討、工事施工マニュアルの作成を行って事業を進め、平成25年9月に完成しました。

平成25年の台風18号の豪雨においては、土石等の捕捉(※)効果が確認されました。

また、透過型にしたことによりオオサンショウウオが堰堤の上流でも確認されました。これからも、多様な水生生物の生息域拡大が期待できます。

(※) 「土石等の捕捉」とは・・・

大雨等により土石流が発生したとき、流れてきた土砂や石、木などを堰堤でつかまえて止めること。



《一級河川余呉川の改修工事再開に向けて動き出しました》

一級河川余呉川の改修は、平成7年度までに国道8号直下までの暫定改修を終え、その後、上流部の用地買収等を行いました。工事は長く止まっていた。平成25年度から国道橋(賤ヶ岳橋)の改築を含めた検討を精力的に進めており、河川改修の再開に向けて動き出しました。

また、平成25年には7月と9月の豪雨の際に余呉川が氾濫危険水位を超え、余呉湖ダムによる洪水調節を実施しました。ダムの効果とともに河川改修の緊急性、必要性を再認識する年となりました。

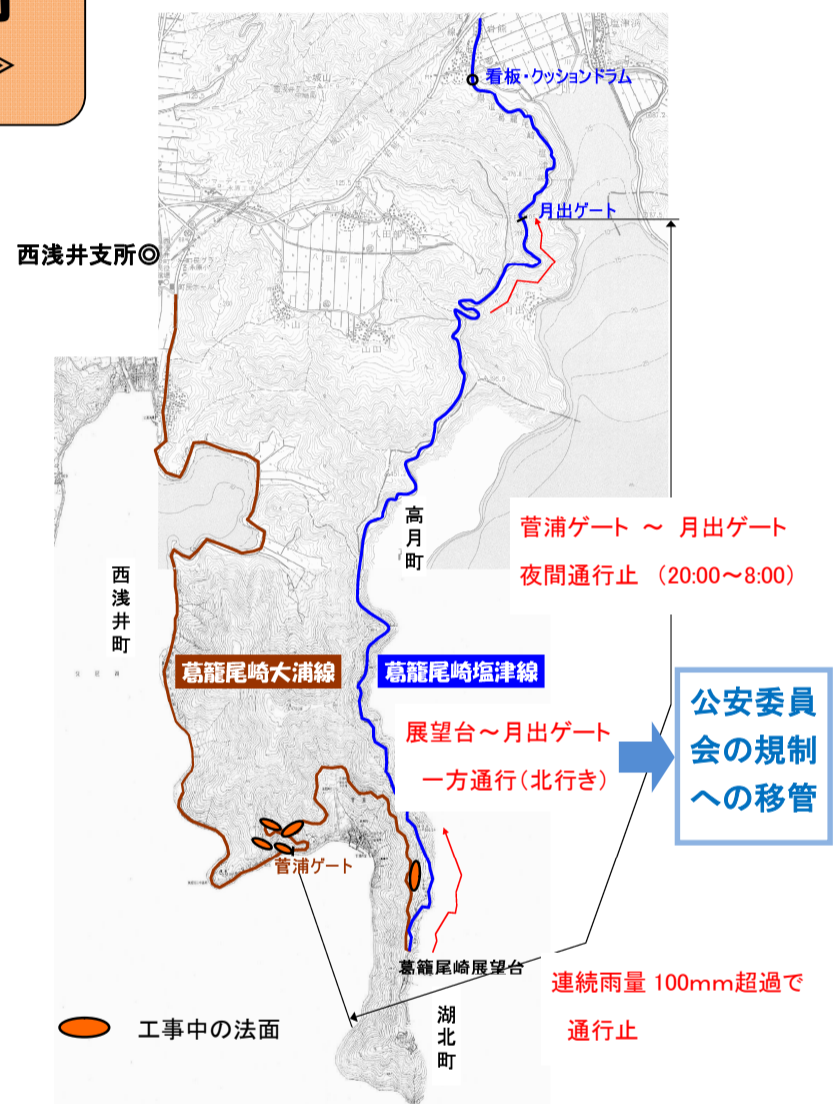


《奥琵琶湖パークウェイ(葛籠尾崎塩津線)の一方通行規制を公安委員会(警察)に移管しました》

昭和46年に供用開始した奥琵琶湖パークウェイは、度重なる斜面の崩壊等により通行止めと復旧工事を繰り返し、平成18年度より道路管理者による一方通行規制を行ってきました。

それでもなお、道路の管理および交通安全の上で様々な問題があり、関係者の協議の結果、平成25年度から公安委員会の規制へ移管することとしました。

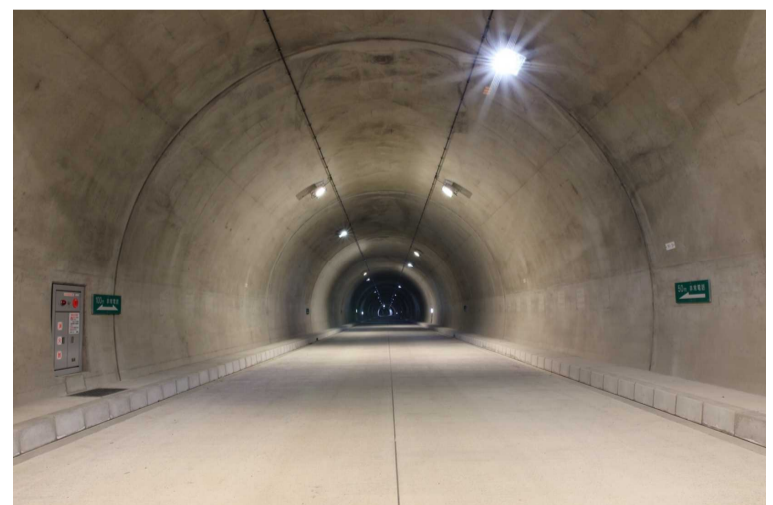
現地では、一方通行規制を確実なものとするために区画線で規制内容をわかりやすく表示することとしました(写真)。なお、平成26年3月末までは冬期通行止めです。



《国道365号 椿坂トンネルの工事を進めています》

平成24年2月に貫通した「椿坂トンネル」では、照明、非常用設備の設置が終わりました。

現在、トンネル手前の法面工事や盛土工事などを進めています。平成26年秋頃にトンネルを通行できるようになる予定です。



編集後記
今回の「IKAGO通信」いかがだったでしょうか。皆様にとって読みやすくわかりやすいものとなったでしょうか。今後もよりよい紙面を作るために、皆さんからのご意見やご質問をお待ちしています。
【ご意見お問い合わせ先】 滋賀県長浜土木事務所木之本支所 電話 0749-82-3434 FAX 0749-82-2654 〒529-0426 滋賀県長浜市木之本町黒田 1234